

ISAKEN THE WORKS 2016-2017
in collaboration with CROSS FM



ふらんど*ふらんだ
~天空の HATAKE 再生計画~

第 14 回全国大学生環境活動コンテスト 入賞

九州産業大学工学部住居・インテリア設計学科 友末佑太
河村大樹
高田祥平

cross fm 協働プロジェクト / 全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画





01.問題背景

今回の対象地は北九州の小倉駅付近のある大型商業施設COLLET・I'mビルです。
この屋上は草木が生い茂っており、手入れが全くされていない荒れた状況です。そこで、私たちはこの荒れ放題の屋上をどうにか再生できないかと考え、この屋上を使って屋上菜園を作ることにしました。そして、次のことに配慮しながらデザイン設計しました。

条件としては、1・所有者からの条件として、現状維持ができるデザインであること。
2・安全面で強風や雨風に耐えられるような構造を持つもの。

問題としては、1・安全面から高い建造物が設置できないということ。
2・手つかずでこれからもあまり管理ができないため、頻繁に雑草の処理ができないということ。



ぷらんど*ぷらんと

cross fm 協働プロジェクト／全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画



02. コンセプト

小倉のような都市部では序盤のスライドで述べたような環境問題が増加しています。そのような問題に対して、建築的なアプローチでできることはないか、と考えました。

そこで考えたテーマは「環境がよくなるための環境づくり」。

ただ屋上菜園をつくるだけでは、突然環境問題が改善される訳ではありません。私たちがつくる菜園を周知してもらうことで、人が集まり、利用してもらう中で屋上菜園ってなんだろう、いいな、と興味をもってもらい、なぜ屋上に庭園があるのだろう、と考えてもらうことで、環境について関心を持ってもらえるきっかけづくりをしたいと思っています。また、こうした菜園に交換をもった人が真似をして環境活動をする、そしてそれをまた真似てと、環境活動をする人たちを増やし、地域の人たちが自分たちの手で、環境によい都市に変えていってほしいと思います。

ぷらんど*ぷらんと

cross fm 協働プロジェクト／全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画



03.作業経過

私たちは準備学習や現地調査を行い、実際に9通りの案を模型にして、現地にて関係者や地域の方々、リスナーの方々に披露しました。また、その際に気に入った案に投票をしてもらい、255票もの票を集めました。この投票で一位になった案の代表がcross FMさんの放送するラジオ番組に出演し、展示会場に来ていなかった方々にも私たちの活動を周知してもらいました。

この投票から、地域の方々は菜園としての機能だけでなく、人とのコミュニケーションや癒しを求めていることがわかりました。それを踏まえて、二度の現地調査とcross fmさんとの打ち合わせを行い、現状を維持しなければならないことから、案を練り直すことになりました。



ふらんど*ぶらんだ

cross fm 協働プロジェクト / 全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画





左の図は屋上菜園の入り口のイメージパースです。

見て分かるようにウッドデッキを前面に張り、下にある雑草はそのままになっており伸び放題になっています。ウッドデッキを張ることで日の当たらない部分はやがて枯れ、日の当たる部分は成長し続けます。環境にあまり危害を加えずに屋上菜園を

菜園の手入れに必要な道具などを運ぶのに階段であると運びにくくなります。その問題を解決するために階段ではなくパースの中心に見えるようなスロープを設けました。このスロープの先にはシンボルツリーがありそのシンボルツリーに向かって上がっていきます。そして、このスロープの勾配は緩やかな勾配になっています。これは、重たい荷物を運ぶ人に対して、足腰の悪い人々に対して安心して利用してもらえるためです。

また、手前に見えるプランターは自分の好きな植物や野菜を好きなだけ栽培できる自分専用のプランターになっています。スロープは他の人が栽培した植物などを見渡しながら上ることができ、地域の方々とのコミュニケーションをとる際の話題にもなると思います。

この屋上菜園を通してこのパースのようにたくさん地域の方々を楽しみながら安心して利用できるような憩いの場になってくれればよいなと思っています。

04. 最終プラン

1本のシンボルツリーに向かってスロープを上がっていきます。スロープを上りきると会員用のスペースが広がっています。少し重たいものを運べるように階段ではなくスロープを設置しました。会員用スペースのプランターは完全個別で自分専用のプランターで好みのものを育てたりと自分に合った農作業ができます。

会員スペースを抜けるとイベントスペースが広がっているというプランです。イベントスペースには、プランターが中心に集められ、イベント参加者がコミュニケーションを取りながら楽しく農作業ができるスペースです。また、雨天などで植物がやられないための対策としてプランターにテントを設置して、雨天にそなえています。さらに奥に進むと、フリースペースがあります。このスペースでは、ちょっとした休憩やお話をする事ができ、さらには、イベント説明を行う場所になっています。

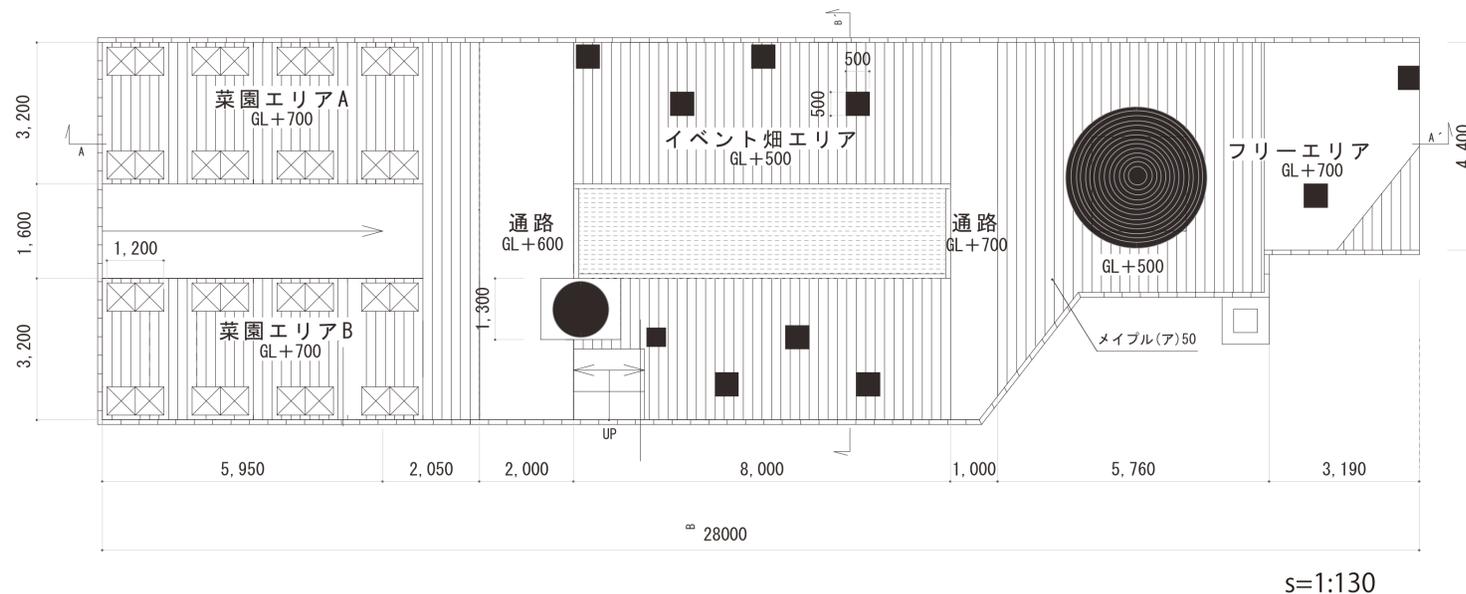
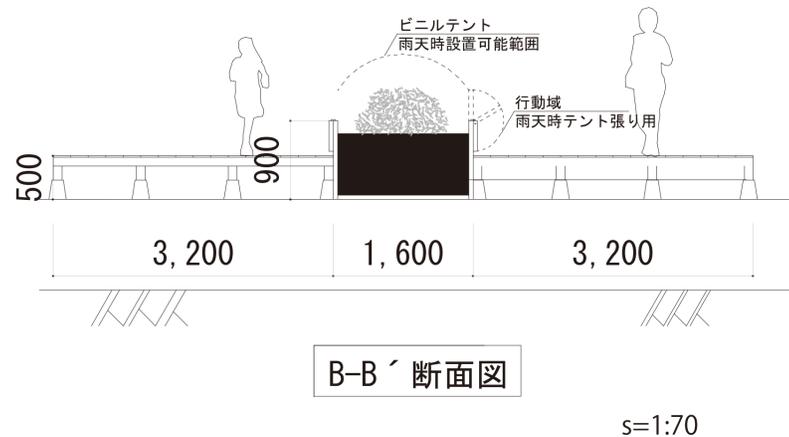


ぷらんど*ぷらんと

cross fm 協働プロジェクト / 全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画



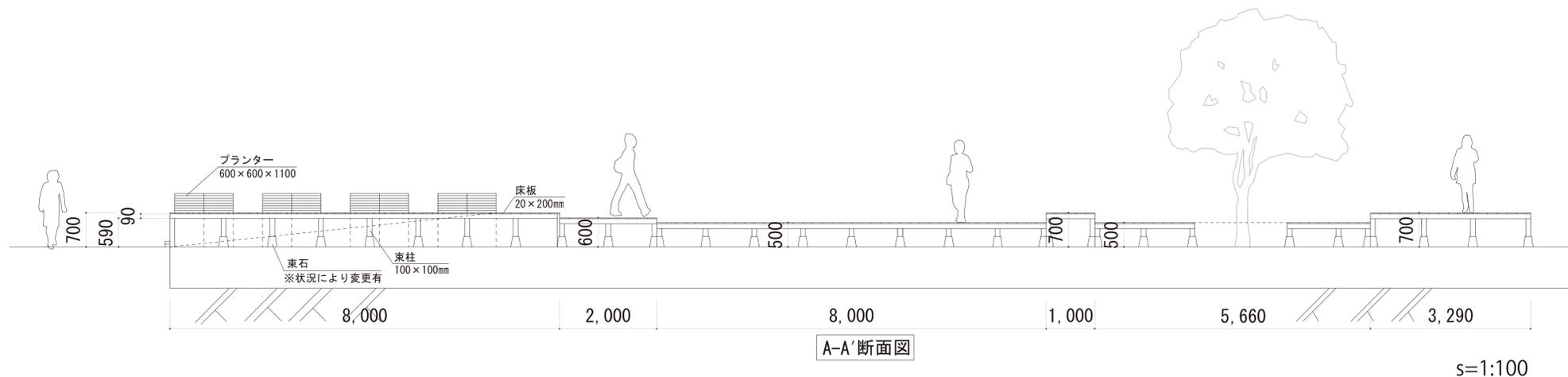


05. 図面

これらは、実際の平面・断面図、そして、プランターの断面図を示したものです。私たちの設計では、全面にウッドデッキを張りました。これは、雑草を処理せずにそのまま施工ができるためです。

平面的にみると、会員用・イベント畑・フリーエリアの3つにエリア分けされています。断面的にみると、風で飛んでしまうなどの理由から壁で空間を仕切らず、レベル差を利用して空間を分けました。レベルで分けることによって、空間を分けつつも繋がりのあるデザインにしました。

会員用プランターは、ウッドデッキから覗くかたちで設置しています。会員用のプランターなので時より人数が変動します。その対応策として、使わないプランターには、土ではなく間に板を挟み、用具などが収納できるような収納BOXになっています。



ぷらんど*ぷらんと

cross fm 協働プロジェクト / 全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画





↑コンテスト後の記念撮影



↑コンテスト最終選考後の記念撮影

06. 製作発表

私たちは、2016.12.23～24に東京で行われた第14回全国大学生環境活動コンテストに出場しました。このコンテストは全国から環境問題に興味関心がある団体、そして、環境保護活動を行っている団体が出場するコンテストです。

このコンテストは、グループ選考・最終選考と2回の選考があり2日間に分けて行われます。1日目にグループ選考が行われその中で選ばれた1つのグループが2日目の最終選考に出ることができます。1日目のグループ選考では、まず初めに、パワーポイントなどを用いた発表があり、質疑応答なども行われました。その後、他団体との交流会が行われ、審査員の選考が行われます。ここでは、普段交流できない他県の学生とのふれあいをすることができます。私たちはグループ選考を勝ち抜き、最終選考へと駒を進めることができました。2日目では、1日目同様パワーポイントなどを用いた発表が行われました。その後、初日にはなかった1枚の写真を提出して私たちがどのような活動を平日頃行っているのか観客に伝えるフリーセッションが行われました。これは、環境活動以外にも今の学生は地域の方々や社会に貢献できる活動を確認する発表でした。これは、直接審査には関係のない発表ではありましたが、このように、全国の学生に直接私たちの活動を広めるチャンスであったと思っています。

結果は残念ながら優勝はできませんでしたが、入賞することができたのでよかったです。



↑グループ選考・グループワーク発表



↑最終選考の様子

ぷらんど*ぷらんと

cross fm 協働プロジェクト／全国大学生環境活動コンテスト入賞

天空の HATAKE 再生計画

